

2025年度業務実績報告書

提出日 2026年 1月 15日

1. 職名・氏名 教授 フロレス漆間アンドレア百合 (Flores Urushima, Andrea Yuri)
2. 学位 学位 人間環境学、専門分野 都市・地域計画史、環境デザイン論、授与機関 京都大学、授与年 2008年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 『福井を学ぶ』（オムニバス：福井の戦後復興：都市再建と景観の変容）〔講義・一般選択、1～3年、前期、2単位〕（担当日：2025年6月11日）
② 内容・ねらい 本授業では、福井の戦後復興を題材に、都市再建の過程と景観変容を歴史資料・地図・写真・現地観察などから読み解き、都市・地域を「社会－自然システム」として理解する視点を身につけることを目的とした。あわせて、災害・復興・記憶・都市形成といったテーマを通じて、身近な地域環境を批判的に観察し、自らの言葉で説明・考察できる基礎的な思考力の育成を目指した。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、福井の事例に加え、京都、ブラジル、欧州の都市事例を紹介し、比較の視点から地域を見る力を養う構成とした。また、問いかけや意見交換を積極的に取り入れ、学生が自ら考え発言する機会を確保した。最終課題として、学生が実際にまちを歩いて観察・記録・考察する「視覚的調査報告書」を課し、授業内容と実体験を結びつけた主体的学習を促した。
(2)その他の教育活動
内容 UTK-FPU Workshop「地域をつくる日常のデザイン」企画・運営（実行委員会・委員）（2025年6月27日、福井県立大学 RIRE／永平寺町） UTK-FPU Fieldwork「地域をつくる日常のデザイン・和紙と漆（越前と鯖江）」企画・運営（実行委員会・委員）（2025年6月27日） WPI (Worcester Polytechnic Institute) IQP/Project Based Education「Regional Revitalization and Traditional Industries in Fukui Prefecture」学生の現地調査に関する事前オリエンテーションおよび調査設計・方法に関する指導（2025年10月25日～12月10日）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0 本】
② 学術論文（査読あり） Flores Urushima, A. Y. (2025) “Time-Space Scales of Urban Ecology: Material Flow and Accumulation with the Study of Kitayama Cedar.” 『JunCture (超域的日本文化研究)』特集「流動化する都市—景観、儀礼空間、都市計画」第16号、名古屋大学大学院人文学研究科・超域文化社会センター。	【1 本】
③ その他論文（査読なし） Flores Urushima, A. Y. (2025)「第4章 福井の流域と湾：地域計画文化の系譜」『地域計画の現状と課題 調査研究報告書（2）』2025年度 福井県立大学地域経済研究所 調査研究プロジェクト報告書、福井県立大学地域経済研究所（掲載予定）。 Flores Urushima, A. Y. (2025)「福井におけるGX時代の都市再生と計画文化の再編：欧州小中規模都市の経験を踏まえて」『ふくい地域経済研究』（掲載予定）	【2 本】
④ 学会発表等 Urushima, A. (2025 年 10 月 10 日) “Assembling Recovery: Migrating Technologies and Epistemic Translation in the Reconstruction of Fukui, 1945–1955.” SHOT Annual Meeting（開催地：ルクセンブルク／University of Luxembourg）、口頭発表。 Urushima, A. (2025 年 8 月 21 日) ”Retrofitting Resilience: Green Innovation through Inherited Assets in Fukui, Pamplona, and Pau Métropole” ICAPPS 2025 (Asian-Pacific Planning Societies 2025 国際会議、台湾・新竹市)、Poster Session II、ポスター発表。	【2 件】
⑤ その他の公表実績 地域経済研究所 e メールマガジン VOL.249（2025 年 9 月 29 日）コラム「地域再生とともに進化する計画文化 — 福井の挑戦」。 福井新聞（2025 年 6 月 28 日）掲載（内容：要確認）。 福井新聞（2025 年 12 月 6 日）掲載（内容：要確認）。	【3 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 科学研究費助成事業（挑戦的研究（開拓））「ESG の世界的潮流は世界の食糧安全保障に危機をもたらすか—ブラジルと日本の視座から」〔期間：2024 年 7 月～2028 年 7 月〕PI：石丸香苗（福井県立大学）／分担。 日本学術振興会 令和 8 年度（2026 年度）二国間交流事業 オープンパートナーシップ（OP）セミナー「気候変動の時代における水と文化的景観 / Water and Cultural Landscapes in the Age of Climate Change」〔申請中〕日本側セミナー代表者（申請番号：26049901-000205、実施予	

定：2026 年 4 月～5 月）。

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般) 「戦後復興都市における潜在的インフラとしての水系景観の再評価と資源化」〔申請中〕研究代表者 (課題番号：23401-061-64060-0001、予定期間：2026 年度～2028 年度)。

人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 (地球研) 超学際探索研究「水産物認証をめぐる『信頼のインフラ』と文化的景観——若狭湾の陸海連関システムの歴史的分析」〔申請中〕研究代表者 (予定：2026 年度・1 年間)。

【学内】

令和 7 年度 個人研究推進支援 (ステップアップ研究支援) 〔採択／学内〕

令和 7 年度 海外学会発表支援 〔採択／学内〕

令和 7 年度 地域経済研究所 海外調査・共同研究 〔採択／学内〕

(3)特許等取得

該当なし。

(4)学会活動等

Revue Ebisu - Études japonaises (IFRJ-MFJ／CNRS (INSHS)) 査読者 (審査協力)。

5. 地域・社会貢献活動

フォーラム「地域政策学部で地域イノベーションを学ぶとは」において講演「英語で伝える都市デザイン」を実施（2025年7月21日、会場：福井県協ビル10階ホール）。

福井県立金津高等学校 学問発見講座：「環境デザインの基礎：都市・地方の相互作用と景観変化—モノの流れに学ぶ—」講師（2025年12月15日）。

マッチング・ミーティング（産官学）「都市再生と国際共創」（2025年10月27日、会場：Fスクエア（Aossa7階）、主催：未来共同プラットフォームふくい）登壇。

地域経済研究所 第5回地域経済研究フォーラム運営（2025年12月5日、福井県立大学 企業交流室）実行委員会・委員。

Workshop: Escola da Cidade（サンパウロの建築学校）ワークショップ参加・講師（2025年7月15日～16日、京都）。

6. 大学運営への参画

(1)補職

該当なし。

(2)委員会・チーム活動

地域政策学部 設置プロジェクトチーム 委員（期間：令和7年度～現在に至る）

地域政策学部 広報チーム 委員（期間：令和7年度～現在に至る）

国際委員会 委員（期間：令和7年度～現在に至る）

(3)学内行事への参加

オープンキャンパス

(4)その他、自発的活動など

該当なし。